

地域の復興と持続的な発展に向け、事業性評価を促進し、企業のライフステージに応じた多様なソリューションを提供しています。

## M E N U

### 商談会などを通じた販路開拓・拡大支援

・宮城県と連携した「食材王国みやぎビジネス商談会」の開催など、お取引先の販路開拓・拡大支援に取り組んでいます。

### 海外ビジネス支援

・お取引先の海外進出や海外への販路開拓・拡大、各種貿易取引ニーズに対し、海外派遣行員や海外の提携金融機関等、当行の海外ネットワークを活用した支援を行っています。

### 進出企業支援、進出企業への地元企業参入支援

・他地域からの進出企業には、地方公共団体と連携して助成金や各種制度の活用提案などを実施しています。また、地元企業との商談機会の提供による参入支援など、ものづくり産業の集積促進に取り組んでいます。

### 農林水産業の成長産業化

・農業の6次産業化、林業における木質バイオマス燃料の安定供給、CLTの普及促進、水産加工品のブランド化の支援などを実施しています。

### 産学連携による支援

・地域産業の振興や地域事業者の経営課題の解決に向けて、東北大学や宮城大学などと連携・協力した取組みを実施しています。

### 経営改善・事業再生

・外部支援機関と連携し、専門的な知見を活用した経営改善計画の策定支援、履行段階における助言など、お取引先の事業再生支援を実施しています。

### 事業承継・M&A

・地域経済を支える中小企業経営者の高齢化や後継者不在等の問題に対応するため、円滑なサポートを実施しています。

## ● 事業性評価の促進

地域の経済・産業の現状および課題を適切に認識・分析するとともに、様々なライフステージにある取引先の事業内容や成長可能性などを適切に評価し、円滑な資金供給や課題解決策の提案を行う事業性評価に、積極的に取り組んでいます。

### 事業性評価 (取引先企業の適切な評価)

地域経済・産業の分析



事業内容・成長可能性の評価  
経営課題の共有



### 解決策の提案 (コンサルティング機能の発揮)

本業支援

新規事業支援

金融支援



P I C K  
U P

## 「ものづくり企業のための 生産性向上セミナー」の開催

地元企業の成長支援を目的に、「生産性向上」と「人材不足」に対応するため宮城県、東北経済産業局、宮城労働局と連携し「ものづくり企業のための生産性向上セミナー～補助金等の活用と働き方改革のポイント～」を開催しました。

本セミナーでは、国の生産性向上に向けた補助金や助成金、各種優遇制度や働き方改革のポイントおよび人材不足対策に関する説明を行いました。



## ● 商談会などを通じた販路開拓・拡大支援

宮城県と連携した「食材王国みやぎビジネス商談会」、宮城・山形両県と連携した「おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会」の開催のほか、全国規模で開催される「地方銀行フードセレクション」などに参加し、お取引先の販路開拓・拡大支援に取り組んでいます。

**七十七銀行**

**お取引先**

<事業性評価>  
経営課題の共有  
市場・競争環境分析  
長期的ビジョン

企画・運営  
・商談機会の提供  
・バイヤー招聘等

課題解決策  
提案・実行

出展

「食材王国みやぎビジネス商談会」の様子



当行担当者が当日の展示会・個別商談会を全面サポート

## ● 「宮城の企業発見プログラム」の開催

地域の企業ならびに大学等と連携し、宮城県内の学生が地域企業へ就職する比率を高めることを目的に、地域企業の事業概要や業務内容を学生に対して紹介する「宮城の企業発見プログラム」を開催しました。

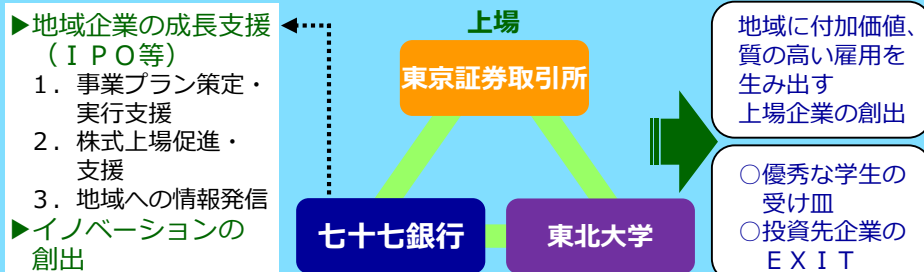
本プログラムには、宮城県内14大学等の1・2年生約130名が参加し、共催企業が開催するグループワーク等を通じて、働く場所としての魅力について理解を深めました。（2019年度共催企業：アイリスオーヤマ(株)、お茶の井ヶ田(株)、(株)河北新報社、カメイ(株)、(株)高速、(株)サイコー、(株)セレクティ、(株)仙台銀行、東北電力(株)、(株)バイタルネット、(株)ユアテック）



## ● 東北大学および東京証券取引所との連携

当行は、東北大学および東京証券取引所と連携し、上場を目指す企業に対して東京証券取引所が運営する株式市場の活用を提案する個別訪問のほか、ベンチャー企業等を対象としたイベント開催や東北大学による地域企業に向けた事業イノベーション推進プログラムとの連携等を通じて、地域経済発展に向け取り組んでいます。

【七十七銀行×東北大学×東京証券取引所 連携スキーム】

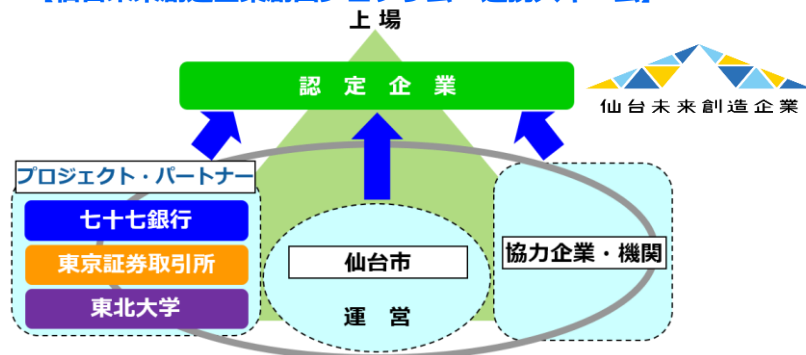


## ● 「仙台未来創造企業創出プログラム」への協力

当行は、仙台市が実施する「仙台未来創造企業創出プログラム」へ「プロジェクトパートナー」として協力し、地元企業の株式上場に向けた集中的な支援に連携して取り組んでいます。

本プログラムは、概ね5年以内での株式上場の実現可能性のある地元企業を公募・選定し、「仙台未来創造企業」として認定のうえ、株式上場に向けた集中的なサポートを行うもので、当行は、東北大学、東京証券取引所と締結した三者連携協定に基づく新たな取組みとして、協力しています。

【仙台未来創造企業創出プログラム 連携スキーム】



## ●「株式会社共勝丸」への支援

当社は、東京港と小笠原村を結ぶ小笠原航路貨物船を所有・運航し、東日本大震災で石巻市の本社および所有不動産等が甚大な被害を受けるなかでも休むことなく貨物船を運航しながら、再建・復興に取り組んでいました。そのようななか、当社の再建状況と小笠原航路貨物船の老朽化により、航路存続が危ぶまれたことから、小笠原村から直接、当行に当社支援の要請がなされました。

当行は、小笠原村の運賃引上げ等の協力を加味した当社事業計画をベースに、当社の事業内容・成長可能性を検証するとともに、政府系金融機関に協力を呼びかけファイナンス面で支援を行うなど、事業性評価を通じた支援を行っております。

### 【東日本大震災からの復興、事業性評価を通じた地元海運業者への支援】

#### 小笠原村

東京から約1,000 km 人口約3,000人  
航空路なく海路のみ

新造船建造の必要性を  
七十七銀行に直接説明

- ・小笠原村の生活物資・建設資材・燃料等インフラを支える航路存続
- ・船舶老朽化（修繕頻度が高くなった）につき、新造船建造を要望

#### 株式会社共勝丸

（宮城県石巻市）

- ・東京港と小笠原諸島の父島・母島を結ぶ貨物船の所有・運航
- ・石巻で不動産賃貸業も営む



<東日本大震災で被災>  
・人的被害・本社全壊  
・石巻の賃貸物件被災

被災後も小笠原村への  
貨物船は休まず運航

- ・課題共有
- ・事業計画
- ・資金相談

融資

#### 七十七銀行

#### 事業性評価の実施

- 東日本大震災からの復興状況確認
- 小笠原村の現状・総合戦略を検討
  - ・若年層の移住・定住により人口横ばい
  - ・村営住宅建替等資材搬入・産廃搬出継続
  - ・観光客増加（宿泊施設二重増加）等
- 運賃・修繕費等の変動を加味した収支検証・アドバイスの実施（コンサルティング能力の発揮）

事業内容・成長可能性を評価

協調  
呼びかけ

日本政策金融公庫

商工中金

新造船建設・運航事業の維持

- 株式会社共勝丸の業績向上・安定収益確保
- 石巻市の産業、雇用等の維持



2019年1月15日  
小笠原村から村民の生活の安定  
および向上に貢献したことにより  
感謝状を授与されました。

写真出所：当社提供

## ●商談会を契機とした宮城県産品のPRおよび販路拡大等の支援

登米市の農業生産法人である有限会社伊豆沼農産は、登米総合産業高校と共同開発した甘酒「初恋さくら」など、地域食材の6次化などに取組んでおり、販路開拓・拡大に向け当行が主催する商談会「食材王国みやぎビジネス商談会」に参加しておりました。また、仙台国際空港を拠点とするアイベックスエアラインズ株式会社は、自社の航空機内で提供可能な宮城県産の飲料を求めていることから、取引営業店より商談会への参加を案内し、有限会社伊豆沼農産との個別商談を実施しました。その後継続商談を重ねた結果、宮城県産品のPRにつながるビジネスマッチングの成約に至ったものです。当行では、今後も商談会の開催などを通じて、お取引先の販路開拓・拡大支援に取り組んでまいります。

七十七銀行

共同  
開催

【食材王国みやぎビジネス商談会】



共同  
開催

宮 城 県

商談会への参加呼びかけ

【包括連携協定】

- ・仙台国際空港利用促進
- ・観光振興・県産品PR
- ・教育支援・災害時輸送等

個別  
商談

アイベックス  
エアラインズ  
株式会社

自社航空機内で宮城県産  
の飲料を提供したい！

伊豆沼農産



登米総合産業高校

共同  
開発

甘酒「初恋さくら」



「初恋さくら」の航空機内における提供決定！！

地域の魅力が詰まっている  
甘酒「初恋さくら」を県外  
に広めたい！

- 甘酒「初恋さくら」の広告宣伝
- 機内カタログへの掲載による販路拡大
- 宮城県産品のPR
- 宮城県北地域の魅力発信

写真出所：各社提供